

# \* 2022年度環境経営レポート \*

対象期間: 2022年 8月 ~ 2023年 7月



エコアクション21  
認証番号 0007930

発行日: 2023年 8月 31日

改定日: 2023年 12月 21日

**齊藤設備工業株式会社**

(目 次)

1. 組織の概要と対象範囲	• • • • • P.3/8
2. 環境経営方針	• • • • • P.4/8
3. エコアクション21環境経営システム実施体制図と主な役割・責任と権限	• • P.5/8
4. 環境経営目標とその実績	• • • • • P.6/8
5. 主な環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	• • P.7/8
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	• • P.8/8
7. 代表者による全体評価と見直し・指示	• • • P.8/8
8. その他	• • • P.8/8

## 1. 組織の概要と対象範囲

(1) 事業所名：齊藤設備工業株式会社

代表者氏名：代表取締役社長 齊藤 保晶

(2) 対象事業所名：齊藤設備工業株式会社 本社

所在地：住所：兵庫県加古川市八幡町宗佐66番地の1

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

・環境管理責任者：齊藤 美和（総務）

・担当者名：齊藤 美和（総務）

・TEL：079-438-1343 FAX：079-438-2098

・メールアドレス：saito1@lime.ocn.ne.jp

(4) 対象事業活動：

管工事・水道施設工事の設計・施工・管理

(4) 事業年度：8月～7月

(6) 事業規模

活動規模	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績
売上高(百万円)	662	573	556	869
従業員(人)	11	11	11	11
床面積(m <sup>2</sup> )	1814.46	1814.46	1814.46	1814.46

\* 上表の床面積には本社敷地内の倉庫床面積も含む。

(7) 主な環境活動の状況

環境負荷項目	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績
二酸化炭素総排出量kg-CO <sub>2</sub>	47,407	38,281	27,109	28,370
産業廃棄物排出量 t	26.40	35.82	41.65	54.02
総排水量 m <sup>3</sup>	268	70	62	78

※電力のCO<sub>2</sub>排出係数は2019年度(0.318kg-CO<sub>2</sub>/kWh(関西電力))を使用しています。

## 2. 環境経営方針

### 1. 環境理念

当社は、「社会と環境へのおもいやり」と言う理念に基づき、顧客の信用を裏切らず、環境問題を会社全体で真剣に考え普段の改善を通じて環境に配慮できる企業として、社員一丸となって環境経営システムを構築・運用し、自主的・積極的に環境保全活動に取組みます。

### 2. 活動指針

当社は管工事・水道施設工事等の事業活動を通じて次の項目に取組みます。

- (1) 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- (2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し汚染の予防と継続的改善に努めます。
- (3) 当社の環境負荷を削減するために次の活動に取組みます。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減（電力・ガソリン・軽油）
  - ② 廃棄物排出量の削減（建設廃材の分別の徹底と削減）
  - ③ 総排水量（上水使用量）の削減
  - ④ グリーン購入（事務用品）の拡大
  - ⑤ 事務用紙使用量の削減
  - ⑥ 環境に配慮した工事の推進
- (4) すべての建設現場において環境への取組をチェックし、環境負荷を削減する。
- (5) この環境経営方針は当社全従業員に周知すると共に、環境経営レポートを公開します。

制 定 日 2011 年 7 月 25 日

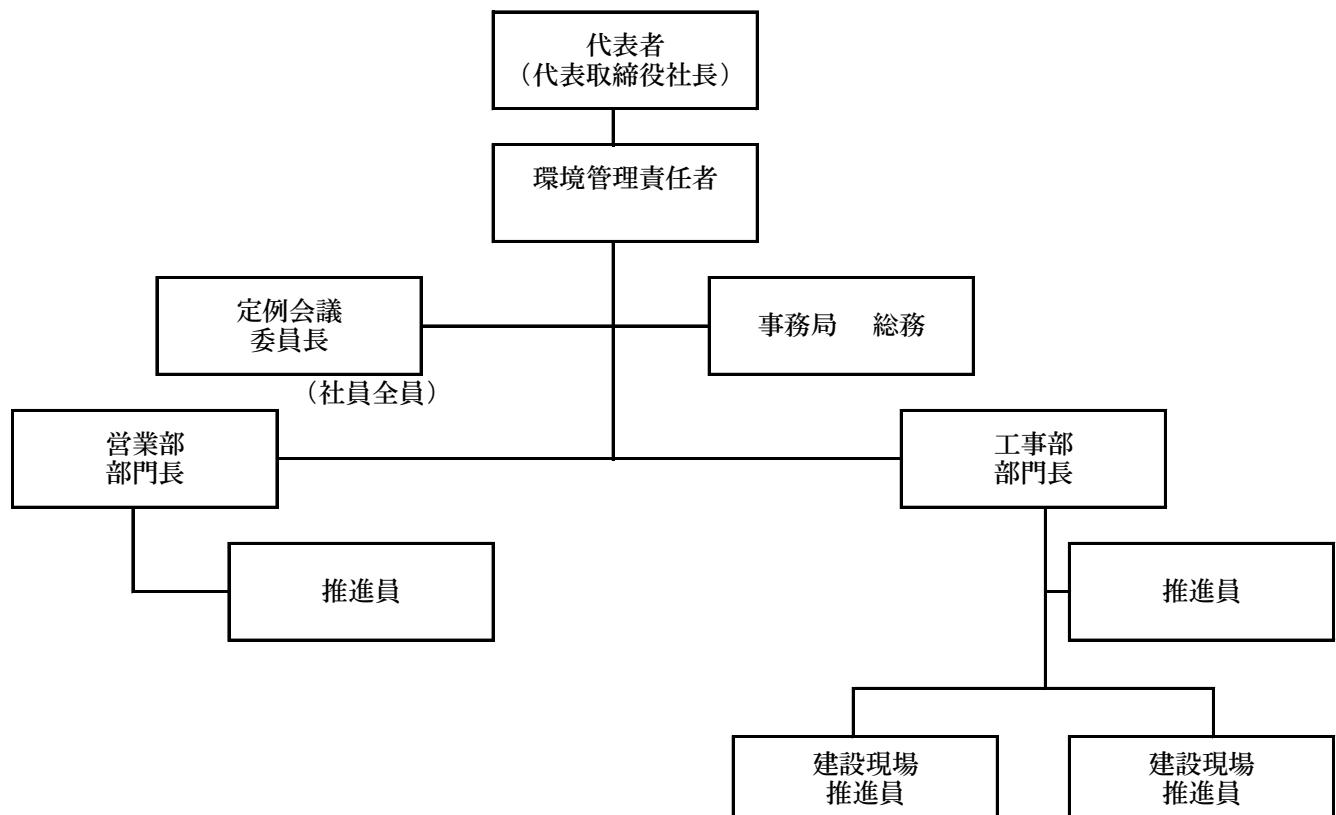
改 定 日 2023 年 12 月 21 日

齊藤設備工業株式会社

代表取締役社長 齊藤 保晶

### 3. エコアクション21環境経営システム実施体制図と主な役割・責任及び権限

<EA21環境経営システム実施体制図>



<主な役割・責任・権限>

**代表者** : ①環境経営システム最高責任者

- ②環境経営方針の制定と周知
- ③環境経営全般の評価と見直・指示 ④環境経営レポートの承認
- ⑤経営に必要な資源(人、もの、資金、情報)の投資

**環境管理責任者** : ①環境経営システムの構築と運用、並びに代表者への状況報告

- ②外部からの苦情等の受付と対応、及び結果の記録
- ③環境経営レポートの作成、④年度緊急訓練計画の立案と実施

**定例会議** : ①環境経営目標及び年間計画の検討、②環境問題の改善策の検討

- ③各現場の進捗状況報告、④日々の業務活動報告

**事務局** : ①環境経営情報のまとめ、課題点の整理、②環境活動委員会検討内容の計画

- ③環境文書及び記録等の管理の元締め

**各部門** : ①年度環境経営目標の展開と報告、②関連法規の遵守、③部内環境教育の実施

#### 4. 環境経営目標とその実績

当社の主な環境目標と対象活動期間の実績は次の通りです。個々の環境経営目標は「環境目標及び環境活動計画と進捗管理表」を活用し展開しております。

項目 (単位)		基準年度	2022年度			2023年度	2024年度	2025年度
			実績	目標	実績	達成率%	目標	目標
CO <sub>2</sub> 総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	40,432	38,814	28,307	127	38,410	38,410	38,410
電力	使用量(事業所)	kWh (2020年度)	10,772 (2020年度)	10,556	11,001	96	10,448	10,341
	削減率(基準年比)	%	-	2	▲ 2	-	3	4
	CO <sub>2</sub> 排出量 *1	kg-CO <sub>2</sub>	3,425	3,357	3,498	96	3,322	3,288
軽油	自動車燃費の向上*2	km/ℓ (2014年度)	7.6 (2014年度)	8.13	9.00	110	8.21	8.28
				7%向上			8%向上	9%向上
	CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>			8,186			
ガソリン	自動車燃費の向上*2	km/ℓ (2014年度)	10.91 (2014年度)	11.80	15.29	130	11.90	12.00
				8%向上			9%向上	10%向上
	CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>			16,685			
廃棄物	建設廃材の分別の徹底度	%	-	100	100	100	100	100
紙資源	用紙 コピー	冊	119 (2010年度)	99	102	97	99	99
	削減率 (基準年比)	%	-	維持	15	-	維持	維持
上水	上水使用量	m <sup>3</sup>	70 (2020年度)	69	78	87	68	67
	削減率(基準年比)	%	-	2	▲ 1	-	3	4
グリーン購入	グリーン対象商品の購入の拡大	件	-	72	103	143	72	72
				(6件/月)			維持	維持
	建設現場での環境負荷低減 自己チェックポイントの目標	%	-	100	100	100	100	100

\*1 電力のCO<sub>2</sub>排出係数は2019年度(0.318kg-CO<sub>2</sub>/kWh(関西電力))を使用しています。

\*2 燃費は2014年度を基準年度としている。

注) 当社では化学物質使用はありません。

注) 当社の事業年度は8月から翌年7月

注) 達成率の計算は達成率(%)=(1+(目標-実績)/目標)×100で計算しております。

## 5. 主な環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

活動目標区分	取組の領域	主な取組	取組結果の評価	※1	次年度の取組内容
CO <sub>2</sub> 総排出量	全体	・下記の通り	意識付けは出来ている。	○	・継続する。
電力使用量の削減	事業所	1. 冷・暖房の適切な温度管理	冷暖房時の温度管理を徹底	○	・継続する。
		2. 空調機のフィルターの清掃/月	冷暖房時の温度管理を徹底	○	
		3. 不使用時の部分消灯	部分消灯は出来ている。	○	
		4. 節電シールの貼り付け	意識付けは出来ている。	○	
軽油・ガソリン使用 自動車燃費の向上	建設現場	1. 自動車燃費とCO <sub>2</sub> の関係	運転日報記入の浸透は	○	・認識浸透の教育の継続 ・経済メリットの意識を なお一層高める ・隨時、車の入替
		2. 運転日報記入、	出来ている。	○	
		3. 各自、燃費の向上を意識する	車の入れ替えによる燃費 向上が明確である	○	
廃棄物分別の徹底	建設現場(産廃)	・受注した工事内容により廃棄物 が変わる、先ず分別の徹底から 取組む。	分別の意識の浸透	○	・継続的に会議で意識の 浸透を図り確固たるものと する。
		・分別対象物を設定する。		△	
		・区分ごとに分別表示する。		×	
		・5回/月以上実施状況を確認する		△	
事務コピー用紙 使用量の削減	事業所	1. 印刷、コピー用紙の両面刷り	浸透している	○	・継続する。
		2. コピー用紙の裏面利用	浸透している	○	
		3. コピー対象物・枚数の事前確認	浸透している	○	
		4. 注意事項の貼り付け	浸透している	○	
上水使用量の削減	事業所	1. 節水シールを貼る	目標は達成できている。	○	・継続する。
		2. 出しつばなしにしない	浸透している	○	
		3. 洗浄の際、洗剤を適正に 使用する。	寄与した項目を明確にし、 継続浸透していく	○	
グリーン購入の拡大	事務所 及び 建設現場	・当社業務に係るグリーン購入対象 品のリストアップ	事務用品は購入できている。	○	・他社情報を参考にしながら 建設現場資材への導入を 進める。
		・使いやすさ、経済性から選択し 購入量の拡大を進める	資材面はコスト面で今のところ 難しい。	△	
環境負荷の低減	建設現場	1. 建設現場での手直し工事の 削減。	各建設現場でのチェックリスト の活用は浸透している。	○	・経済メリットの意識を 高める
		2. チェックリストを活用し環境 負荷の低減。		○	

※1 達成状況

できている…○

一部できていない…△

できていない…×

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1. 主要な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される法規	遵守すべき要求事項	確認・評価
1. 廃棄物処理法	保管基準 処理業者との委託契約の締結 管理票の交付・保管・交付状況報告	遵守
2. 振動規制法	規制基準・特定建設作業の届出	遵守
3. 騒音規制法	規制基準・特定建設作業の届出	遵守
4. 建設リサイクル法	コンクリート塊、アスファルト塊、廃材の再利用 建設廃棄物の分別	遵守
5. 自動車NO <sub>x</sub> ・PM法	排気ガス適合自動車の使用	遵守
6. フロン排出抑制法	3ヶ月以内ごとの簡易点検の実施及び記録の保管	遵守

\* 実施する施工内容により想定される法基準が沢山ある為、主な法基準として示しております。

\* 遵守確認は2023年8月31日に確認と評価を実施した。

### 2. 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。環境関連法規の遵守状況については、

「環境関連法規制の取りまとめ・遵守チェックリスト」を基に遵守評価を行っており、問題ありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘及び訴訟の指摘も過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直し・指示

◆全体評価 二酸化炭素総排出量は減少しているが、電力・上水使用量が目標を達成出来ていない。 これまで以上に、意識を持ち取り組んでいかなければならない。 次年度は全て目標達成できるように。	
1. 環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり
2. 環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり
3. 環境経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり
4. 実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり

実施日： 2023年8月31日

代表取締役 齊藤 保晶

## 8. その他

環境経営レポートについて

- ・エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版に基づいています。

以 上